

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
1	北海道			
2	青森	青森地区	青森地区少年紅白柔道大会において、標語横断幕の掲出、役員によるスピーチを行った。	元気の挨拶ができるようになった。選手の礼法と父兄の応援マナーが向上した。大会後のゴミの持ち帰りが徹底されてきた。
		八戸地区	第43回四市三郡七戸桜花柔道大会、及び第47回南部地方柔道大会において、プログラムへのキャッチフレーズ掲載、役員によるスピーチを行った。	今回は、宣誓文の中にルネッサンスの言葉を盛り込みたい。
		中体連	県中学校大会において、会場内ポスター掲出、横断幕掲出、プログラムにおける紹介、県担当者からの呼びかけにより啓発を行い、選手へのトイレの整理整頓等を指導した。	元気の挨拶ができるようになった。会場内がきちんと整理されるようになった。応援保護者にも意識が芽生えた。継続して啓発に取り組む。
		高体連	県高体連柔道専門部独自のスローガンを作り、各大会のプログラムに掲載して啓発。また、環境美化、清掃活動の徹底により奉仕活動の涵養を図った。	ゴミ持ち帰りなど、以前より環境マナーの改善が図られた。審判への講義を行い謹慎処分を受けた指導者がいたことが残念である。
3	岩手			
4	宮城	2007JUDOフェスタ	県ルネッサンス委員長による講話	子供たちは熱心に講話を聴いていた。
5	秋田	県中学校大会 県少年大会 県都市大会	<ol style="list-style-type: none"> <li>活動組織の充実(県ルネッサンス委員会組織強化等)各支部、高体連、中体連、スポーツ少年団の代表で構成</li> <li>啓発・広報活動(大会あいさつ、開会式での諸注意でマナーアップの呼びかけ)</li> <li>開会式で体験発表、講話</li> <li>大会プログラムに標語等の掲載</li> <li>大会会場に、横断幕、ポスターの掲出</li> <li>標語の募集と表彰(県中体連)</li> <li>実践活動(会場クリーンアップ、能登半島沖地震募金)</li> <li>マナーアップの指導</li> <li>能登半島地震義援金の募金活動(大曲仙北中学校春季大会)</li> </ol>	<p>「成果」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>柔道ルネッサンスの名称がかなり認知され、運動の趣旨の理解が広まった。</li> <li>各支部、各大会で具体的な取り組みが多く見られる。</li> <li>競技者の「あいさつ」が向上</li> <li>会場におけるゴミの持ち帰り、トイレ使用等のマナーアップ</li> </ol> <p>「課題」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>柔道ルネッサンス運動の一般社会人への浸透</li> <li>各郡市中体連、地区高体連内でのルネッサンス推進担当者の広がり</li> <li>マナーの日常化(習慣化)指導</li> <li>指導者、大人の模範行動</li> </ol>
6	山形	マルちゃん杯東北柔道大会(5.20)	参加していた岩手県久慈市の中学生が会場内のトイレのスリッパを揃えていたことから本県の指導者がその中学校に電話をして始まった柔道の交流。	子供たちのこうした地道ではあるが自主的な活動が、健全育成につながっている。大人が目をかけ手をかけ声をかけることの大切さを再確認した。
		酒田地区中学生	1年生を対象とした投の形の講習を行う事で、技の基本と理論をしっかりと習得させた。	一人一人が真剣に学び、組み手、体捌きなどの基本を理解した。
		西村山地区内小・中学生 河北町内小・中学生	試合を通して、相互の交流を深める。 大会主催者より、柔道ルネッサンス活動の趣旨を説明。	ルネッサンス活動に対して選手だけでなく、会場の保護者にも理解を深めてもらい、ゴミの持ち帰りに協力していただいた。
		天童市高楯地区小・中学生	秋の全国一斉交通安全運動へ参加し、親子で考えたチラシをドライバーに配布して交通安全を呼びかけた。(洗心館道場)	このスポーツ少年団の活動は、毎年行われ、地域住民やドライバーから大変感謝されている。

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
6	山形	鈴川・東・千歳各柔道スポーツ少年団	山形市の馬見ヶ川に架かる4つの橋を清掃し、地域に奉仕した。	毎年、春と秋に計画され実施してきた。今後も積極的に参加する。
		大江町長杯争奪少年大会、大江町内小・中学生	大会終了後、役員・選手・保護者により、会場内の清掃を実施。	役員・選手・保護者の融和親睦の輪が広がった。参加者や観客のゴミの持ち帰りが増えた。
		朝日町内小・中学生	柔道ルネッサンスの趣旨に沿った大会運営。各大会の冒頭で役員・選手全員で柔道ルネッサンスの啓発を行った。	子供たちの稽古以外での礼儀や態度が良くなってきた。
		寒河江市民大会	開会式において、選手・保護者・大会役員全員で「柔道ルネッサンス」のテーマを唱和。大会終了後に会場内の清掃を実施。	子供たちが元気な挨拶をできるようになった。応援のマナーも良くなった。
		小学生及び応援者	大会の開会式において、山形県警察の選手によるスピーチ。柔道ルネッサンス活動の模範となる2チームに対し、「柔道ルネッサンス賞」を授与。	選手・監督だけでなく、応援者にも大会への参加意識と柔道ルネッサンスへの理解を深める機会を与えられた。
7	福島	全国小学生学年別県予選会等、各大会	大会の開会式において、県ルネッサンス委員が柔道ルネッサンスに関する講話を行った。 会場内にポスターを掲示し、活動の啓発を行った。	
8	茨城	各大会 昇段審査会 講習会 その他行事	県柔連、各支部(5支部)主催の各大会、昇段審査会、講習会等にスローガン横断幕を掲出。 昇段審査会、小・中・高校生学年別優勝大会を始め年間12回の大会、鏡開式、武道初め式、形講習会における柔道ルネッサンスに関する講話。各支部においても同様の活動を実践。 柔道ルネッサンスカレンダーを1,500枚配布した。好評であった。	指導者の意識変革、青少年の目的自覚に効果あり、礼儀正しい柔道を行う青少年が極端に増加している。 正しい柔道を目指し、今後も継続的に柔道ルネッサンス活動に取り組む。
		県柔連役員 県内指導者	シンポジウムの開催 平成19年4月15日 テーマ:柔道指導者が担う社会的教育的役割 約100名参加 平成20年4月13日 テーマ:柔道ルネッサンス 今指導者としてできること	
9	栃木	県ジュニア大会 国体県予選会 県選手権大会 審判講習会	開会式における会長あいさつ時に、柔道ルネッサンス活動に関する講話。 県ルネッサンス特別委員会委員長による、県内柔道連盟支部・団体役員に対する啓発	開・閉会式が整然と実施できるようになってきた。 観客のルネッサンス活動に対する理解が深まってきつつある。 柔道ルネッサンス活動啓発の成果を検証したい。
		県柔連6支部の開催する支部大会、昇段審査会	支部内柔道ルネッサンス担当者による、支部会員・選手・保護者に対する講話	ここ1、2年、講話等の実施が定着してきた。
		全国小学生学年別県予選会 県小学生学年別選手権大会 県小学生錬成大会 全国少年県予選	開会式における少年団団長の柔道ルネッサンス活動に関する講話 柔道ルネッサンス横断幕の掲揚	保護者の試合場付近への立ち入りが減少した。(ルールへの遵守) 会場のゴミの散乱が少なくなってきた。 保護者の柔道ルネッサンス活動への理解が深まった。
		春季中学校体育大会 県中学総合体育大会 県高校総体体育大会	県中体連ルネッサンス担当者による、教員、選手、保護者に対する講話	あいさつが励行されるようになった。 会場の整理・整頓等、マナーの向上が見られるようになった。
		高校全国大会県予選 県高校新人大会 高校選手権予選	県高体連ルネッサンス担当者による、教員、選手、保護者に対する講話	指導者・部員・保護者の柔道ルネッサンス活動への理解が深まった。

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
10	群馬			
11	埼玉	羽生市柔道連盟	年間を通じてあいさつ、履物の整理整頓、窓の戸締り等、練習前の心構えについて模範的であった子供たちを表彰(柔道羽生ルネッサンス賞)。	表彰された子は人の役に立つ喜びを知りさらに積極的にになり、まわりの子供たちも感化されて積極的にになり、時間にゆとりが増えて交友関係もよくなっている。
		熊谷市柔道教室	熊谷市社会福祉協議会主催の「社会奉仕に関するポスター」募集に、柔道練習生たちが応募し、車椅子の老人を子供が押して「長生きしてね」と言っている構図のポスターを描いた小学校4年生・大島洸希君の作品が最優秀賞を受賞した。	子供たちにお年寄りや障害のある子供たちに対する接し方、仲良く積極的に交流することの大切さを教える事ができた。
		上尾警察署ひまわり柔道教室	生徒の父親が、嘉納杯国際大会をテレビで見ても感動した様子を感想文として提出。	
		埼玉県武道館	県柔連会長が、大会あいさつの中で、4つの目標、3つの行動を示して講話を行い、柔道ルネッサンス運動の推進に努めた。	会長自らの具体的な指導により、選手、指導者、観客が皆積極的に清掃を実施し、会場内の整理整頓、美化が促進された。
12	千葉			
13	神奈川	第1回関東小学生親子団体柔道大会	神奈川県柔道連盟では、本大会を柔道関係者のみの事業に終わらせることなく、広い視野で捉えて社会に貢献していこうとの考えから、福祉班を編成し、知的障害者施設の生徒や関係者を大会に招待し、試合を観戦してもらいながら、選手達との交流を図り、相互理解を深めた。 招待された生徒達からは、実際に柔道を体験してみたいという感想が生まれた。	大会関係者と障害者が柔道を通じてお互いの理解を深めるということは、社会の一員として柔道選手の視野を広げるためには大変有効な企画であり、今後も機会を増やしていく。
		柔道・護身術さわやか広場(6.23)	少年少女が柔道を通じてお年寄りと交流を深め、お年寄りに喜びと生き甲斐をもたらす、同時に少年少女たちの優しさや思いやりの心を育むことを目的に、特別養護老人ホーム「さくら苑」で「柔道・護身術さわやか広場」を開いた。 「善道館」(伊藤吉治館長)の少年少女が護身術や柔道実技を行った後、お年寄りたちと立ち技ゲームを楽しんだ。	お年寄りたちは子供達の礼儀正しい作法や元気に感動しきりで、子供達も大喜びで参加していた。文字通りお年寄りとの子供達のさわやかな触れ合いの場になった。今後も継続していきたい。
14	山梨	県内柔道関係者	柔道選手の難病(心臓移植以外助かる手段のない状況)の父を救う会への協力(募金活動等)。県会長を中心として一丸となって、無事移植手術を受け自立できるまで支援することを目的に募金活動を展開。 5月早々に目標募金額の9,000万円を達成し、5月19日アメリカで移植手術に成功。現在自宅でもリハビリに専念している。	県柔連の協力活動は総体的に微力ではあるが、県柔連が一つの目的に向かって、突き進む事ができた。 嘉納師範の教えである「精力善用」「自他共栄」を実践できたことは、今後の県柔連発展の原動力となるものと期待する。
15	東京			
16	新潟	新潟県立潟東中学校 全校生徒及び教職員	青年海外協力隊員としてヨルダンにおいて柔道の指導及び普及活動をしてきた講師を招き、自己の体験談、柔道を通じてのふれあいのすばらしさを語っていただいた。	講演を通じて、生徒に自己の行き方を見つめ直す機会を与え、又、日本の伝統文化である柔道のすばらしさを伝える事ができた。
		県少年団「稽古始め」鏡開き	県副会長(柔道ルネッサンス委員)による講話。	少年たちに分かりやすい柔道ルネッサンス活動を理解させるとともに、基本の大切さ、柔道を取り巻く新たな動き等も伝えた。

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
17	長野	講習会・大会等参加者及び観戦者	県会長による、あいさつ時の柔道ルネッサンス活動に関する講話。 会場内に横断幕を掲示。 閉会後の場内クリーンアップ活動の実践。	柔道ルネッサンス活動についての理解者が増えているように思われる。
18	富山	第1回県少年柔道教室	柔道の基本動作、基本練習の心構え、姿勢、態度、礼法、相手への思いやり、環境整備と後片付けについて注意し、徹底を図った。	指導者に対しても、指導中の注意事項を説いた。
		県高校春季選手権大会	大学指導者によるスピーチ。	柔道を通じて身についたマナーや精神を説いた。
		第1回昇段審査会	県会長による、あいさつ時の柔道ルネッサンス活動に関する講話。	段位にふさわしい形・心構えを身につけ、「美しい柔道」を目指して修行することを奨励した。
		県高校総体	県副会長による、柔道ルネッサンス活動に関する講話。	生活の中で立場の弱い人を助けてあげる勇気を持つ事の大切さを説いた。
		全日本小学生学年別県予選会	県中体連総務部長による講話。	世界の柔道の動向、人の話を聞く姿勢や集中力の大切さを説いた。
		県体重別選手権兼国体予選会	大学指導者による講話。	柔道選手が練習の場所取りをするマナーの悪さを指摘し、注意を促した他、身の回りの整理整頓への心構え一つで人の評価が変わり、人間としての本当の強さが理解できることを説いた。
		県中学校選手権大会	県中体連総務部長による講話。	一人の柔道部員が挨拶によって職員室から学校を明るく変えた実話を話し、挨拶の大切さを説いた。
2007JUDOフェスタ	県中体連総務部長による講話。	観戦する父兄に対して、家庭内での親子間の挨拶の大切さを説いた。		
19	石川	3つの賞による表彰(小・中・高・指導者)	教育・推進活動のため、「柔無涯賞」「柔あすなる賞」「一本賞」を設け、表彰を行った。	平成13年度より、選手の育成、柔道の普及発展、一本を取り競い合うダイナミックで美しい柔道を目指し、3つの賞を設けて表彰し、ルネッサンス活動に取り組んでいる。今後も幅広く活動を継続していく。
		県高校総体	県のキャッチフレーズ応募で最優秀作品となり、全国で「入選」した高校生が、感想を発表した。	発表を通じて、柔道ルネッサンス活動の趣旨等について、高校生や保護者に十分な啓発ができた。
		全日本小学生学年別県予選会	大会表彰式で、県強化指定選手を発表し、県役員が、「精力善用・自他共栄」の意味、強化選手としての心構えを伝え、柔道を通じて心身を磨き社会貢献を实践するよう説いた。応援席の保護者にも、勝負にこだわらず、真の柔道の目的を達成することへの理解を求め指導した。	会場全員が柔道ルネッサンスの活動について再認識し、教育的効果の高揚がみられた。
		県中学校柔道大会	柔道ルネッサンスの活動についての啓発。 大会会場クリーン活動。	スピーチやクリーン活動を通じて、柔道ルネッサンス活動の趣旨や具体的な内容、中学生や保護者に望むことなどについて、啓発できた。
		北信越学生体重別選手権・北信越学生体重別団体優勝大会	金沢大学、北陸大学、金沢学院大学、金沢工業大学の柔道部員が、大会終了後に石川県立武道館内の後片付けと清掃を行った。	これまでは主管校だけに任せるのが通常であったが、4大学が共同で行うことにより共栄の精神を向上させ、武道館の清掃活動にも役立った。

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
19	石川	県高校新人体育大会	スピーチによる高校生・指導者・保護者への啓発。	全国高校総体81kg級3位の本県選手が、日頃の心構えについて発表し、柔道ルネッサンス活動についての啓発を行った。
		県高校選手権大会	スピーチによる高校生・指導者・保護者への啓発。	モンゴルからの留学生が、日頃の心構えについて発表し、柔道ルネッサンス活動についての啓発を行った。
		県中学生新人大会	スピーチによる中学生・指導者・保護者への啓発。	元全日本強化選手で県高校顧問の指導者が、自身の経験をもとに啓発を行い、柔道のすばらしさや柔道人の目指す方向性についてメッセージを送る事ができた。
20	福井	第2回県中学校春季錬成大会	県内指導者約50名、選手約200名が参加した強化練習会の冒頭において、県ルネッサンス委員の講話(トイレのスリッパを自発的に整理した事例、挨拶の奨励等)により柔道ルネッサンスの啓発が行われた。 キャッチフレーズ高校生の部において入選した2作品について県独自で横断幕を作成し会場内に掲出した。	全国大会のみでなく、地区大会にも講師(スピーカー)を派遣してルネッサンス運動を展開してほしい。(選手のみでなく指導者にも必要と思われる。)
		第1回県学年別少年大会	県少年部役員による柔道ルネッサンス講話。 (1)礼法 (2)挨拶 (3)友達を大切に (4)整理整頓 (5)物を使ったときは後をきれいにしましょう。 (6)勝負にこだわることなく、柔道を継続することが大切	
21	静岡	講道館講習会兼県中央指導者講習会	講道館より講師を迎え、110名の主に少年柔道の指導者を対象に、少年への指導法や心構えについて、講演と実技指導。	参加者は極めて熱心な受講態度であり、非常に好評であった。
		各地区審判講習会	県下3地区で実施。審判法の講習だけでなく、柔道ルネッサンスに関することも確認できた。	継続して実施していく。
		競技者対策事業	柔道の底辺拡大を目指し、次の事業を行った。 (1)(東海ブロック競技者育成事業)第5回少年柔道強化合宿 (2)県トレセン合宿 (3)県柔道フェスタ(2箇所) (4)県下小学生強化練習会	礼法・受身などの基本の徹底及び、指導者対象の栄養学講座等を実施。
		その他広報普及活動	(1)柔道勧誘ポスター作成・掲示(3年目) 道場、中学校、高校 (2)柔道啓蒙用ポスター作成・掲示(3年目)「講道館柔道の形の名称」のポスター (3)静岡県柔道協会60周年記念誌の発行	具体的な数値データはないが、それなりに効果があったと思われる。
22	愛知	東海ブロック小学生強化合宿	東海ブロックの小学生強化指定選手96名が参加した。 県柔道ルネッサンス委員長による「柔道の修行目的」の講話、及び、県役員による「発育・発達と柔道」についての講義を行った。	子供たちに大変わかりやすい講義で、子供たちは興味深く聞いていた。
		2007JUDOフェスタ	県柔道ルネッサンス委員長による「柔道ルネッサンス」の講話	子供たちは、大きな声で挨拶をしたり、返事がかえってきた。自分の出したゴミ等は会場内にあまり無かったことから、自宅に持ち帰ってくれたものと思う。
23	岐阜	東海・北信越マルちゃん少年柔道大会	県柔道ルネッサンス担当責任者によるスピーチ。 柔道選手としてのマナーや相手への礼節等を講話し、マナー向上を図った。	大会中や大会後のゴミの散乱、ポイ捨てが少なかった。今後は、マナーアップに繋がる話を幅広く選手から呼びかけてもらう。

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
23	岐阜	高校合宿	強化を目的に全国から参加し、試合や練習試合等を行う。強化だけでなく、人間教育の一環で使用施設の清掃、ゴミの分別回収等を行った。	今回で6回目を迎え、各高校顧問、選手にも浸透し非常に協力的に清掃担当を行ってくれている。
24	三重			
25	滋賀	県少年大会 県中学大会 県高校大会 県一般大会 昇段審査会	少年・中体連・高体連の役員で県柔道ルネッサンス委員会を組織(委員長は県副会長)し、各々が分担して啓発活動を行った。 (1)各大会で県柔道ルネッサンス委員を中心に活動スピーチを実施。 (2)保護者・指導者・役員対象に、柔道ルネッサンス活動の説明会を実施。 (3)日常のルネッサンス活動を各所属(道場・学校)で行う。(保護者への説明、ポスター掲示) (4)ルネッサンス中間報告会 次年度に向けての課題を討議した。	今年度の取り組み方には、それぞれの地域で、個性を生かした取り組みがなされていて大変良かった。特に、我々指導者が模範を示す事が重要と思われる。今後も、各道場の指導者・保護者対象の研修会実施など、啓発活動を継続して行っていく。
26	京都			
27	大阪			
28	兵庫	第4回KOBE「自他共栄」CUP学生柔道大会	神戸市学生大会を発展させ、さらに「自他共栄精神」の普及をねらいとして、KOBE「自他共栄」CUPを実施した。第4回を迎えた今大会は、関西圏を中心に九州・北陸・関東からも参加した31大学によって開催され、各参加大学は、「自他共栄」に合う活動や目標についての作文を提出し、優秀な者には「自他共栄賞」を授与し、それらの作品集を参加大学に配付した。	今回は「自他共栄への思い」というテーマで作文を集い、「自他共栄」についての理解・認識が高まった。今回から一部に小学生・中学生の錬成試合を組み込み、大会を発展させた。
		第24回神戸少年大会	少年の錬成大会を通じた柔道ルネッサンス活動の普及。大会プログラムの表紙に「挨拶」「ゴミ処理」「出会いを大切に」「他者への敬愛」等を明記し、大会中においてそれらの活動を啓発した。	大会において具体的な内容を啓発することにより、子供及び父兄に対してもルネッサンスに関する意識を高めることができたと思われる。
29	奈良	県少年大会	スピーチによる小学生、指導者、保護者への啓発ポスターの配布	グリーン作戦等を行うとともに、各道場にルネッサンスポスターを掲示
		県高校各大会	試合後の清掃活動(道場周辺)	当番制による活動ではあるが、生徒の意識が変わってきた。
			プラン21(平成21年度奈良インターハイに向けての強化活動)の奨励	中学生強化選手、高校生強化選手における合同練習において、少しずつ形になりつつある。
30	和歌山			
31	鳥取			
32	島根	小学生～一般/年間/主催各大会	・会長による講話 ・本県作製「精力善用・自他共栄」横断幕、柔道ルネッサンス横断幕を会場に掲出 ・大会プログラム裏表紙に、柔道ルネッサンス標語(小学生)、趣旨文(高校・一般)の掲載 ・小学生に、柔道ルネッサンスポストカードの無料配布	選手は、柔道ルネッサンス活動の趣旨を理解しつつある。今後の方針として、指導者・保護者の方への啓発活動を継続していきたい。
33	岡山			
34	広島	県柔連主催各大会 少年団各大会 柔道整復師大会等	柔道ルネッサンスの標語横断幕の掲示。 ポスター掲示・パンフレット配布による啓発。 大会中、場内アナウンスによる会場使用マナ - およびゴミの持ち帰り等の呼びかけ。 試合会場内の整理整頓・大会終了後の清掃。	選手・応援者・保護者のルネッサンス活動に対する趣旨理解とマナ - に対する認識が向上している。 大会後の清掃において中学生・高校生の意識が高まり、積極的に整理・整頓を行うようになった。 今後とも各活動を継続していく。

# 平成19年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告(抜粋)

平成20年6月12日現在

	都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
35	山口			
36	香川			
37	徳島			
38	愛媛	第4回全日本小学生学年別柔道大会	開会式において、県内の小学生2名が柔道ルネッサンスを題材とした作文発表を行った。	子供たちに人前で自分の意見を発表させることにより、自己意識の高揚を図ることができ、参加者にも良い刺激になったと思う。指導者・父兄にも好評であった。
39	高知			
40	福岡	全日本選抜体重別選手権大会 金鷲旗高校大会	大会におけるスピーチの実施 柔道ルネッサンス標語の横断幕を会場に掲出	
41	佐賀	小学・中学・高校	キャッチフレーズ優秀賞受賞作品横断幕を活用し、県内柔道ルネッサンス活動を推進した。 小中高校生に柔道ルネッサンスについての作文を書かせて、大会の折に朗読させることを決定し、試験的導入を行った。	3月の鹿島観桜柔道大会において、中学生に作文を朗読をさせて、たいへん好評であった。
42	長崎	県内道場、中学校単位の小学生・中学生 「明社協柔道大会」	県出身の中学・高校九州チャンピオンである池田賢生選手を招き、開会式で講話をしていただいた。先生や両親、周りの仲間の支えがあったからこそ、ここまで頑張ることができたことなど、後輩達へ向けての熱いメッセージを伝えてくれた。	努力した人間しか伝える事ができないメッセージだと思う。あこがれの先輩の話に子ども達は決意を新たにされた様子だった。今後も機会あるごとに柔道ルネッサンス啓発活動を展開したい。
43	熊本	県内における少年、中学生、高校各試合会場及び各道場	年間通じて県協会主催の大会(年間13回)において、大会関係者が柔道ルネッサンスの意義・目的を明確に説明。 柔道修行の目指すものを理解してもらうために各大会において柔道ルネッサンス旗(入賞標語入り旗)の掲揚、2008年柔道ルネッサンスカレンダー配付、各大会入賞者にポストカードを贈呈等を実施し、意識啓発を図った。 また、大会の昼食時を利用して、大会会場の美化清掃活動も推進している。	柔道ルネッサンスの趣旨を踏まえ、精力善用、自他共栄の柔道精神をあらゆる場面において活動を継続して実施したことにより、関係者の意識が徐々に変化し、マナーアップに繋がっている。
44	大分	県少年大会 さわやか柔道祭 県中学大会 県高校大会	柔道ルネッサンスカレンダーの配布による、運動の浸透と、「大会会場ゴミゼロ運動」の展開による理解の拡大を行った。	各大会での柔道ルネッサンスに対する理解度が高まっており、会場のゴミも減少傾向にある。今後も継続して「ゴミゼロ運動」を展開したい。
		県柔道祭	元全日本強化選手の手島桂子(旧姓前田)さんが「柔道ルネッサンスにおける私の提言」と題し、少年少女の選手及び会場の父兄に対するスピーチを行った。	今後も柔道に取り組む選手や、父兄等の関係者に対し、スピーチによって柔道ルネッサンスの意義と必要性を伝えていきたい。
45	宮崎			
46	鹿児島	2007JUDOフェスタ	県会長による、開会式挨拶時における柔道ルネッサンスに関する講話。	フェスタを経て、事業部とルネッサンス担当が話し合い、柔道ルネッサンスの具体的な取り組み方を検討し、常務理事会を経て県下少年大会で実施することになった。宣誓が試合にも影響し、白熱戦の中にも、礼儀正しく整然とした試合展開がなされた。今後でも啓発活動を行っていく。
		県下少年柔道大会	開会式で、三笠柔道スポーツ少年団の吉田大志君が、従来の選手宣誓に「薩摩少年柔道ルネッサンス宣言」を加えて、力強く宣誓した。	
47	沖縄			